

墨田区議会だより

第 33 号

発行 昭和58年1月1日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横網一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第4回定例会

区議・区長選挙の公営化

ポスター掲示場設置・選挙公報発行を決定

昭和五十七年最後の墨田区議会第四回定例会を十一月十七日から三十日まで十四日間、わたり開きました。今回は、区議会議員と区長選挙の一部公営化のための条例など九件の議案を可決し、五十六年度各会計決算を認定したほか、請願・陳情九件を議決しました。

十七日、本会議の第一日目は、自由民主党、公明党、日本共産党の各会派一人ずつの議員が一般質問を行いました。十八日、本会議の二日目は、区民クラブ(社会党)、自由民主党の各会派一人ずつの議員が一般質問を行いました。つづいて、第三回定例会で決算特別委員会に審査を付託していた昭和五十六年度墨田区一般

会計歳入歳出決算、同国民健康保険特別会計歳入歳出決算を、賛成多数により審査報告どおり認定しました。又、「墨田区議会議員及び墨田区長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例」など九件の議案を総務委員会などそれぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。つぎに、区議会あてに出された「立花小学校体育館の床張替に

関係する請願」など請願八件、陳情二件もそれぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。十九日から二十九日まで本会議は休会し、この間に各常任委員会を開き、それぞれ本会議で付託された議案、請願等を審議

しました。三十日、本会議の三日目には、休会中各委員会で審査した各議案等の報告を採決しました。その中で、「ポスター掲示場の設置に関する条例」について、日

区民のみならずあけておめでたうございます。昨年の区政は、厳しい経済社会情勢の中で、中小企業の振興やまちづくり公社の設立など、着実な進展を見ました。本年九月には、錦糸町駅南口に区内商工業発展の核として期待される区立産業会館の開設も予定されています。



墨田区議会議長
沖山 満

しかし、高齢化社会の進行人口の減少等に伴う区内の活力低下も心配されるなど、困難な課題も山積しています。区議会は、効率的行政運営と社会の変化に対応した区民福祉の向上を図るため、より一層の努力を重ねる所存です。今後ともみなさんのご支援ご協力をお願い申し上げます。

本共産党と自由民主党が討論を行い、これについては、賛成多数で可決し、「選挙公報の発行に関する条例」など五つの議案は全会一致で、そして、「昭和五十七年度墨田区老人保健医療特別会計予算」など予算三件は賛成多数で可決しました。

つぎに、請願七件、陳情二件の委員会審査の報告については共産党が、「東武ストア出店反対決議及び大型出店凍結宣言の決議等に関する請願」ほか一件について反対討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決しました。又、初沢英夫議員から辞職願が出され認められました。最後に区長からあいさつがあり、昭和五十七年第四回定例会を閉じました。



錦糸公園で(昨年の成人の日に)

ポスター掲示場条例案に白熱した議論——総務委員会

墨田区では、今年の四月に行われる区議会議員と区長選挙から、選挙が一部公営化されることになりました。

これは、今定例会で「墨田区議会議員及び墨田区長の選挙に関する条例」と「墨田区議会議員及び墨田区長の選挙における選挙公報の発行に関する条例」を可決したことによるものです。

この二つの条例は、十八日の本会議二日目に上程され、総務委員会に審査が付託されました。十一月二十六日に開いた同委員会では、この条例案をめぐり白熱した議論が行われ、「ポスターの数が減る。知る権利を奪うものだ。」「ポスター枚数の減だけで知る権利を奪うことにはならない。」「選挙民に知らせることを制限することは民主主義に逆行する。」「選挙公報も同時実施するのでむしろ民主的だ。ポスター公害もなくなる。」「全候補を一覧で見られるようになる。」「などいろいろな意見になる。」などいろいろな意見

が出ました。そして、定例会最終日の本会議で、「ポスター掲示場の設置に関する条例」に対して、共産党から反対の討論が自民党から賛成の討論が行われ起立表決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、区議選、区長選でのポスター掲示場の公営化は、二十三区では初めてのことで、

昭和五十六年度各会計決算を認定

決算特別委員会を開く

昭和五十六年度墨田区一般会計歳入歳出決算と同国民健康保険特別会計歳入歳出決算審査のため、決算特別委員会を、去る十月二十五日から三十日まで開会しました。

この年度は、二十一世紀につながる長期的・総合的な区政運営の指針「墨田区基本構想」に基づいて、新たな一歩を踏み出した年であり、その決算に連日熱心な審査を行いました。

委員会の最終日には、両会計決算に対し各会派が意見を述べ、それぞれ起立表決の結果、賛成多数でいずれも区長から報告のあったとおり認定しました。

決算特別委員会は、その年の予算がどう使われたか、効果はどうであったか、区民生活の向上が十分に図られたかなどを審査するものです。

この年度は、二十一世紀につながる長期的・総合的な区政運営の指針「墨田区基本構想」に基づいて、新たな一歩を踏み出した年であり、その決算に連日熱心な審査を行いました。

委員会の最終日には、両会計決算に対し各会派が意見を述べ、それぞれ起立表決の結果、賛成多数でいずれも区長から報告のあったとおり認定しました。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 森下 | 青野 | 吉田 | 島村 | 山崎 | 桑名 | 沖山 | 樋口 | 湯本 | 矢口 | 並木 | 榎本 | 原正 | 柴田 | 瀧澤 | 早川 | 田中 | 小早川 | 武内 | 石橋 | 蘭田 | 村瀬 | 大和 | 原田 | 柴田 | 青木 | 小池 | 渡辺 | 西山 | 牛山 | 中村 | 佐藤 | 加藤 | 足達 | 加藤 | 西藤 | 松野 |
| 三 | 政 | 武 | 福 | 政 | 梅 | 丈 | 令 | 甲 | 保 | 正 | 昌 | 良 | 幸 | 左 | 恵 | 啓 | 正 | 隆 | 政 | 裕 | 来 | 治 | 良 | 静 | 良 | 恭 | れ | 光 | 四 | 信 | 寿 | 耕 | 文 | 弘 | | |
| 七 | 雄 | 三 | 藏 | 吾 | 佐 | 吉 | 二 | 子 | 雄 | 義 | 男 | 一 | 内 | 子 | 次 | 夫 | 明 | 幸 | 裕 | 来 | 治 | 平 | 静 | 良 | 三 | 子 | 子 | 郎 | 郎 | 一 | 一 | 造 | 隆 | 子 | | |
| 人 | (公) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (公) | (公) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (共) | (共) | (公) | (区) | (民) | (自) | (自) | (自) | (自) | (共) | (共) | (共) | (新) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | (自) | | |

(議席番号順)

一般質問

女性の集いを開催したい

男女平等化へ努力 区長答弁

第四回定例会の十七日と十八日に開いた本会議では、自民党、公明党、共産党、区民クラブの四党派、五人の議員が出て、区長に対し一般質問をしました。その中で、婦人の地位向上、交通事故防止、大型店対策、区内公共施設等の区長の考え方を聞きました。

婦人の地位向上と 婦人会館建設の促進を

自由民主党

問 女性の社会的地位も年々向上してはいるが、就職面等でまだ不十分だ。国際婦人年以後、国・都において「行動計画」が策定されているが、下町、中小企業の町である本区の婦人問題は、他と違う課題と対応がある。区は、住民意識調査でもこの問題をとり上げたが、今後の検討にどう生かすか、この検討に区内の婦人の参加をどう求めているのか。又、婦人会館建設の検討は進められているのか。

答 今年度の住民意識調査に婦人問題をとり上げたが、まだ、男女平等意識は定着していない。現在、区内の各種婦人団体リーダー等の参加で、婦人問題を検討準備会を発足させ、対策を検討協議しているが、区民女性の集いといったものを開催してみたい。婦人会館建設は、適地があれば早期に実現したい。

産業会館の管理運営は

交通事故の防止に 学校教育の強化を

公明党

問 区内の交通事故の近年の増加は、子どもや老人の事故と、自転車、バイク事故の多発だが、交通安全の低さ、マナーの悪さを指摘しているが、区民も対策の推進を強く望んでいるが、特に学校教育の中で交通安全教育を強化すべきだと思ふ。区長の考え方はどうか。

答 急速な経済成長の中で、車

あり、開館後の管理運営に関心が集まっている。民間有識者による運営協議会の設置を検討することが必要ではないか。又、使用条件等の事前PRを始めてもいいのではないかと。駅北側開発のシンボルとして予定される経済文化会館に民間資本の導入を望む声もあると聞かれましたか。

答 産業会館は、年末年始を除き年中無休とするよう検討中で、会館の名称や運営協議会については、広く意見を聞いて決定したい。文化会館は、北側開発の核となる施設で、副都心化の促進に役立つものとなるよう検討中だ。複合化は土地の有効利用上の課題であり今後検討したい。

区民生活防衛に 国と都と対決せよ

日本共産党

問 消費不況の影響で区民の暮らしと営業は深刻だ。区民生活防衛のため、国・都と対決すべきだ。

又、税収が落ち込む中で、都は各区への交付金を減額しようとし、鈴木都政主導の都事業肩代り財源が実質で低下している。もう譲歩は認められない。

答 区民福祉の向上、区民生活を守る立場に立っており、国や都に追随してはいない。是々非々で自主的に対応している。財源で撤退するなという点だが撤退はしていない。確保したと考えている。

京島まなびの都営住宅を

請願・陳情の審査結果

問 以前の新聞に、地方都市と比較して特別区内の公共施設のおそまつさが指摘されていた。区内の現状も小さな施設だけで大きなものがない。青年館、区民会館、結婚式場、教育センターなどの建設をどう考えるか。

答 新聞の例を引かれたが、東京という大都市の国の財源措置が、地方に比較して低いことは痛感している。

区民会館の結婚式場は時代にそぐわなくなった。今後の対応については十分相談したい。

結婚式場・教育センター等の建設は

区民クラブ(社会党)

問 区民会館の結婚式場は時代にそぐわなくなった。今後の対応については十分相談したい。

答 新庁舎はかねがね問題になっているが、どちらが先かは別にして、やはり地下鉄八号線が重要なカギだ。いましばらく様子を見ていきたい。

会派構成が 変わりました

かねてから病氣療養中だった初沢英夫議員は、第四回定例会最終日の十一月三十日、議長に辞職願を提出し、同日の本会議で許可され辞職しました。

これにより区議会の会派構成は、自由民主党二十一、公明党七、日本共産党五、区民クラブ(社会党)二、民社党一、新自由クラブ一、無所属一となりました。

隅田川のほとり

枕橋の渡し

墨田区のまん中を、東西に流れる北十間川が、隅田川にそそぐところに「枕橋」が架かっています。

明治時代、この枕橋のたもとと浅草花川戸一丁目との間を結ぶ「枕橋の渡し」と呼ばれた渡し船がありました。

明治九年に始まったこの渡し船は、隅田川にあった渡しの中にも新しい方に入ります。

この渡し船のことについて当時の新聞が「浅草山の宿四十番地から、本所枕橋際への船渡し

古くから料理屋、茶店などの多い所、江戸市中のぜいたくな料理にあきた人たちが素材な料理今でいう「いな風」の料理にあこがれて、川を渡ってよく食べにきました。

このあたりの料理は、すずめ焼き、玉子焼き、いも田菜、鯉の洗いに鯉こく、白魚、しじみ汁、茶づけに香の物といった、いかにもこざっぱりとした物が多く、その人気は江戸が東京になっても変わりませんでした。

八百松の看板料理は焼き鳥でしたが、土地で取れた野菜や魚など季節の材料をうまく生かした料理も評判を呼んでいました。八百松の部屋から眺める隅田川の流れ、浅草寺の五重の塔、遠くには富士山、あるいは筑波

の山、料理の味の良さとすばらしい景色で料亭「八百松」は、東京名所の一つに数えあげられていました。

隅田川を貨物やお客を乗せた蒸気船が急がしく上り下りする中で、ゆうゆうと横切る渡し船時代の移り変わりとともに枕

橋の渡しもいつしかその姿を消し、料亭「八百松」も大正十二年の関東大震災によって、その幕を閉じましたが、その頃、八百松で客の送り迎えをする時に使っていた名入りの「提灯」が今も向島花園に保存されています。



浮世絵の枕橋の渡しと八百松 (豊原国周筆)

問 現在、墨田区の観光資源は大きく前進してきているが、江戸の風情を取り入れた観光事業の観光産業とするため行政がリードする必要があります。

又、区内の伝統工芸を地場産業として育て発展させる施設も建設すべきだ。観光課を設けるための開発を進めたい。

問 以前の新聞に、地方都市と比較して特別区内の公共施設のおそまつさが指摘されていた。区内の現状も小さな施設だけで大きなものがない。青年館、区民会館、結婚式場、教育センターなどの建設をどう考えるか。

答 新聞の例を引かれたが、東京という大都市の国の財源措置が、地方に比較して低いことは痛感している。

区民会館の結婚式場は時代にそぐわなくなった。今後の対応については十分相談したい。

問 区民会館の結婚式場は時代にそぐわなくなった。今後の対応については十分相談したい。

答 新庁舎はかねがね問題になっているが、どちらが先かは別にして、やはり地下鉄八号線が重要なカギだ。いましばらく様子を見ていきたい。

おぼろ

区議会の様子を見ながらにお伝えしているこの区議会だよりも、昭和49年4月に創刊して以来、10年目を迎えることとなりました。

より一層、読みやすく、親しんでいただける紙面をつくるため努力いたします。みなさんのご意見、ご要望をお待ちしています。

区議会事務局 調査係
☎626-1315 内線217